

日本音楽療法学会 東海支部研究紀要 投稿規程

1. 本誌は音楽療法とその周辺に関する論文を掲載する。和文、英文を問わず、他誌に掲載された論文は掲載しない。
2. 投稿は、本学会東海支部正会員および学生会員に限る。ただし、連名の場合は筆頭著者が会員であること。
3. 原稿は原則として、
 - ①原著論文は、図表を含めて A4 の用紙に 40 字×30 行 20 枚以内とし、5 語以内のキーワードをつけること。
 - ②事例研究は 10 枚以内とし、3 語以内のキーワードをつけることいずれの場合も新かな使い(である調)、当用漢字、算用数字を用い、図表はその大きさを本文に換算して、全頁の中に算入する。CD など電子データを添付すること。ワープロ専用機は使用せず PC データのみ受け付ける。
4. 図表の印刷は白黒とする。原稿・写真は鮮明なものを使用すること。製版・用紙・印刷などに特別な費用が必要な場合は、執筆者がその費用を負担するものとする。図表の裏側にその番号と著者名を記入して、本文とは別にまとめ、本文中にその挿入箇所を明示すること。なお図表の課題および説明を一括して別紙に必ず 記入すること。
5. 原稿には、題名・執筆者名・所属(所属、住所)、キーワードの順に記載する。
6. 外国人名、地名などの固有名詞以外は、できるだけ訳語を用い必要な場合には初出の際だけ原語をつける。
7. 引用文献は最小限とし、著者名、題名、誌名、巻数、頁(始めと終わり)、発行年次のみに関り、単行本のときは、著者名、書名、発行書店名、発行地、頁数、年次を記載する。なお、誌名は公の略称を用いる。著者名が3名をこえる場合は、4名以上は、英文では et al. 日本文では、他、のように省略する。

記載例：

 - ①Alvin, J. : Music Therapy. John Baker Publishers Ltd., London, 1966.
(櫻林仁、貫行子訳:音楽療法. 音楽之友社、東京、1969.)
 - ②牧野真理子、坪井康次、中野弘一、他:うつ状態に音楽療法的接近を試みた一例. 日本バイオミュージック研究会誌、1:61-66、1987.
 - ③日野原重明:音楽の癒しのちから. 春秋社、東京、16-17、1996
 - ④Hanser, S. B., Larson, S. C. & O'Connell, A. S. : The effect of music on relaxation of expectant mothers during labor. J. Music Therapy, 20 : 50-58, 1983.
8. イタリック、ゴシックなどの特別の活字は、統計記号ならびに数量に決める記号以外には使用しないこと。

9. 原稿の採否は編集委員会によって行われ、編集方針により加筆削除等を要請することがある。
10. 原稿の提出にあたっては、他に編集委員査読用としてコピー2部を提出する。原則として原稿は返却しないので、コピーを保存しておくこと。
11. 別刷は、実費で要望に応じる。
12. 原稿の送り先(原稿は郵送のみ受け付ける)

日本音楽療法学会東海支部事務局宛

〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町 1-109 大垣女子短期大学 小西研究室